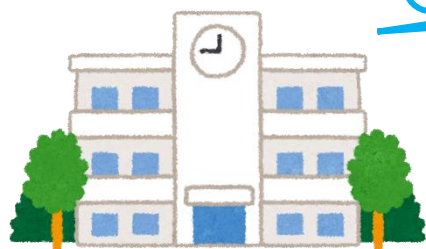


北陽小学校「いじめ防止基本方針」 令和7年度 概要版

いじめのない、明るい 北陽小学校をめざして！

「いじめ防止基本方針」を策定し、
「いじめ問題対策チーム」を設置しています。



学校

○校長 ○教頭 ○主幹教諭 ○生徒指導主事 ○学年主任 ○養護教諭
○スクールカウンセラー
※外部の専門的な知識を有する者（スクールカウンセラー、いじめ対応アドバイザー）をいじめ問題対策チームの構成員として配しています。

いじめ防止対策推進法では、家庭でのいじめに対する指導についても、以下のように定めています。

【9条1項】

保護者は、その保護する児童等がいじめを行うことがないように、当該児童に対し、模範意識を養うための指導を行うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。

【9条3項】

保護者は、国、地方公共団体、学校の設置者及びその設置する学校が講ずるいじめの防止等のための措置に協力するよう努めるものとする。

家庭



学校と家庭が協力して、北陽小学校からいじめをなくしていきましょう。

＜北陽小学校の取り組み＞

☆月に1回、いじめに関する定期的なアンケート調査（記名式・家庭回答）を行います。

☆北陽小の教職員は、いじめに対し個人的な判断をしません。

疑いはすべて学年・対策チームに報告し、調査します。

【その上で、いじめの事実を認めた場合】

- ・事案に対し、対策チームを編成して対処します。
- ・当事者及び保護者に応じた、右記の支援・指導・助言等を行います。

- ◎被害児童・保護者の支援
- ◎加害児童に対する指導
- ◎加害児童・保護者への助言
- 傍観児童への指導・保護



いじめ未然防止等に係る年間計画

月	教職員・【児童】
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校いじめ防止基本方針」確認（校内研修） ・学校だよりやHP等での「学校いじめ防止基本方針」の発信 ・「いじめ問題対策チーム」の設置 ・児童理解の会① ・第1回生徒指導研修 ・1学期教職員・児童会・ボランティア等によるあいさつ運動 ・【学校生活アンケート（記名式）の実施】 ・いじめ防止対策の取組ふり返りと改善策を考える（毎月）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・個人カードの記入・【学校生活アンケート（記名式）の実施】 ・児童理解の会② ・第2回生徒指導研修（いじめアドバイザー①）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・なやみアンケート（家庭回答）の実施 ・児童理解の会③
7	<ul style="list-style-type: none"> ・前期学校評価（生活アンケート含む）・個人カードの記入
8	<ul style="list-style-type: none"> ・前期学校評価の検証とふり返り ・第3回生徒指導研修会（いじめアドバイザー②）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期教職員・児童会・ボランティア等によるあいさつ運動 ・【学校生活アンケート（記名式）の実施】・児童理解の会④
10	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・なやみアンケート（家庭回答）の実施
11	<ul style="list-style-type: none"> ・【学校生活アンケート（記名式）の実施】
12	<ul style="list-style-type: none"> ・個人カードの記入・後期学校評価（生活アンケート含む）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期教職員・児童会・ボランティア等によるあいさつ運動 ・学校生活アンケート（記名式）の実施
2	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・なやみアンケート（家庭回答）の実施 ・第4回生徒指導研修会（いじめアドバイザー③）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート（記名式）の実施 ・後期学校評価の検証とふり返り ・個人カードの記入

家庭においてお願いしたいこと

子どもと過ごす時間をつくる



親と子どもの時間が合わないために、一緒に過ごす時間が少なくなっているかもしれません。学年が進んでも、家族と過ごす時間は大切です。

家族で少しずつ調整して、食事の時間を合わせたり、就寝前などの時間を利用したりして、学校の話や友達、将来について話す時間をつくりましょう。テレビのスイッチを切るだけで、時間をつくれることもあります。

子どものようにアンテナを張る



子どもが今、何に関心を持っているのか、どんな学習をしているのか、どんな本を読んでいるのかなど、気にかけてみましょう。学校の話で、親の意見や感想を求められたときが、子どもと話し合うよい機会となります。SNSなど、見えにくいところでの交友関係、会話については特に、気をかけてください。危険なことや不適切なことを止めてあげたいものです。

大人同士の関係をつくる



学校行事やPTA活動、地域の行事に積極的に参加し、保護者同士、大人同士の関係をつくりましょう。

地域の方から自分の子どもについて、いろいろな情報が得られることがあります。